

# 吉井川水防演習を開催！！

(高めよう 地域のきずなと 防災意識)

水防の重要性、水防意識の普及啓発を目的に岡山県・吉井川流域市町村と協力し、吉井川水防演習を開催いたします。

今回の演習は、平成2年、10年の浸水被害や平成16年の高潮被害を教訓に、吉井川流域に洪水が発生するという想定のもと、中国地方整備局、岡山県、吉井川流域の13市町村の主催により、地域住民を含む38団体(約1,100名参加予定)が連携し、水防で重要である「自助」「共助」「公助」をポイントに、情報伝達・通報訓練、避難訓練、水防工法訓練、人命救助訓練等を実施します。地域防災力向上に向けた初めての取り組みとして、地元企業の方々にも演習に参加いただく予定です。

なお、会場には一般の方々の見学席を設けています。当日の申し込みにより参加いただける訓練や展示コーナーもありますので、多数の方々の参加をお待ちしています。

日時：平成19年6月3日(日)  
9:00~12:30

(大雨等により参加機関が防災体制をとる必要がある時は中止する場合があります。)

おくちょうまめだ

場所：岡山県瀬戸内市邑久町豆田地先  
吉井川瀬戸内市側(左岸)河川敷

#### 問い合わせ先

- ・国土交通省中国地方整備局  
電話番号 昼間 082-221-9231(代表)  
夜間 9238(直通)  
(担当) 河川部 河川管理課長 岸本 芳雄(内線3751)  
(担当) 河川部 河川管理課長補佐 道中 貢(内線3752)
- ・国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所  
電話番号 昼夜間 086-223-5101  
(担当) 副所長(技) 植田 光明(205)  
(担当) 調査設計課長 上橋 昇(351)
- ・岡山県  
電話番号 昼夜間 086-226-7478(直通)  
(担当) 土木部 河川課 副参事 小寺 紀孝  
土木部 河川課 総括主任 額田 佳克

#### 中止確認の問合せ先

- ・国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所  
電話番号 086-223-5101 又は 0869-66-7631  
中止の場合は、当日の朝5時00分までに決定します。

#### (広報担当窓口)

- 国土交通省中国地方整備局 広報広聴対策官 岡田 憲二
- 国土交通省中国地方整備局 企画部環境調整官 山本 正司

# 演習の目的及び参加機関等

## 1. 目的

洪水による被害の発生を未然に防止し、被害を最小限に食い止めるためには、関係機関との密接な連携のもとに迅速かつ円滑な水防活動を行う必要があります。

このため、吉井川における洪水を想定し、国土交通省・岡山県・市町村を始めとする関係機関及び地域住民等の参加のもと、情報伝達・水防工法・避難訓練・人命救助等、実態に即した水防演習を行うことにより、水防団員等の士気高揚を図り、水防工法技術の錬磨に努めるとともに、地域住民の水防思想の普及啓発を図り、水防体制の強化を図るものです。

## 2. 主催

国土交通省 中国地方整備局

岡山県

瀬戸内市、岡山市、津山市、備前市、赤磐市、美作市、和気町、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町

## 3. 参加機関

中国地方整備局 岡山県 瀬戸内市 岡山市 津山市 備前市 赤磐市 美作市 和気町  
鏡野町 勝央町 奈義町 西粟倉村 久米南町 美咲町

陸上自衛隊第13旅団 陸上自衛隊第4施設団第305施設隊 岡山地方気象台

日本赤十字社岡山県支部

中国管区警察局岡山県情報通信部 岡山県警察本部 瀬戸内警察署

瀬戸内市消防本部 岡山市消防局 瀬戸内市上下水道部

西日本電信電話株式会社岡山支店（展示コーナー）

中国電力株式会社岡山支社（展示コーナー）

株式会社岡山シティエフエム

福岡会（地元自治会） 八丁町内会（地元自治会）

株式会社岡山村田製作所（地元企業） 株式会社姫太郎岡山支店（地元企業）

内山工業株式会社邑久工場（地元企業） 株式会社旭東自動車教習所（地元企業）

協同精版印刷株式会社（地元企業）

瀬戸内市内小学校児童

キラリ ネット（岡山県内大学ボランティアネットワーク）

吉井川応急対策協力会社

中国地方防災エキスパート（河川巡視訓練）

（約1,100名が参加予定）

## 4. 後援

全国水防管理団体連合会 社団法人日本河川協会 社団法人中国建設弘済会

財団法人河川情報センター 社団法人建設広報協議会

# 平成19年度 吉井川水防演習 実施概要

～高めよう 地域のきずなと 防災意識～

吉井川水防演習では、吉井川流域において洪水や高潮等の水災が発生するという想定のもとに、平成2年9月台風による内水被害、平成10年10月台風による浸水被害、平成16年8月台風の高潮被害等の近年洪水の経験を活かし、中国地方整備局、岡山県、吉井川流域の13市町村及び地域住民が連携し、水防警報、洪水予報等の情報伝達・通報訓練、水防工法訓練等を実施します。また、特別訓練では、陸上自衛隊、岡山県警察本部、瀬戸内市消防本部、日本赤十字社等が連携し、緊急物資輸送訓練、人命救助・救護訓練等を実施します。

演習では、広く地域住民の水防に関する知識や技能の向上を図り、防災意識の高揚を促すほか、実態に即して水防演習を行うことにより、水防団員等の士気高揚を図り、水防工法技術の錬磨を図ります。

開催日時：平成19年6月3日（日曜日） 9時00分～12時30分

開催場所：岡山県瀬戸内市邑久町豆田地先 吉井川瀬戸内市側河川敷(邑上橋下流)



## 《吉井川水防演習のポイント》

災害に強い地域づくりを目指し河川情報入先の紹介など、自助・共助・公助のうち特に自助に役立つ情報提供等に努めます。

地域防災力の向上に向けて初めての取り組みとして、地元企業の皆様に土嚢作りに参加していただきます。過去の水害や実在する組織を踏まえ、実践的な演習を行います。

防災用語や発表情報の見直しなどの新たな取り組みを反映した演習とします。



# 吉井川水防演習

## ○水防演習の目的

水防は、地域が団結して自ら行わなければなりません。水防に関する知識や技能の向上と防災意識の高揚を目的として、演習を行います。演習では、地域住民や水防団（消防団）とそれぞれの防災担当機関が協力して、水防活動や人命救助の訓練を行います。

## ○水防工法訓練

土のう作り、土のう積み、月の輪工法など14種類の水防工法を水防団（消防団）が実施します。また、地元の自治会や企業、児童たちが演習の役員と協同して、土のう作り体験を行います。

## ○特別訓練

災害時における人命救助や災害支援を想定して、訓練参加機関（自衛隊、警察、消防等）による情報収集、救助、救護、災害支援等の訓練を実施します。また、地元の自治会の方が自らを守るための避難訓練も実際の経路にて実施します。

平成19年

6月3日

9:00~12:30

雨天決行  
ただし洪水時は中止  
見学自由

赤磐市福田地区  
平成10年10月撮影

瀬戸内市邑久町豆田地先 吉井川瀬戸内市側河川敷邑上橋下流

**主催** 国土交通省中国地方整備局、岡山県  
吉井川流域内の市町村 瀬戸内市、岡山市、津山市、備前市、赤磐市、美作市、和気町、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町

**参加機関** 陸上自衛隊第13旅団、陸上自衛隊第4施設団第305施設隊、岡山地方気象台、日本赤十字社岡山県支部、中国管区警察局岡山県情報通信部、岡山県警察本部、瀬戸内警察署、瀬戸内市消防本部、岡山市消防局、瀬戸内市上下水道部、西日本電信電話（株）岡山支店、中国電力（株）岡山支社、（株）岡山シイエフエム、地元町内会（福岡会、八丁町内会）、地元企業（（株）岡山村田製作所、（株）姫太郎岡山支店、内山工業（株）邑久工場、備前食糧（株）、旭東自動車学校、協同精版印刷（株）、瀬戸内市内小学校児童、キラリ☆ネット（岡山県学生ボランティアネットワーク）、吉井川応急対策協力会社、中国地方防災エキスパート

**後援** 全国水防管理団体連合会、（社）日本河川協会、（社）中国建設弘済会、（財）河川情報センター、（社）建設広報協議会

※ 演習時の車両通行止めやヘリコプターの音など周辺の皆様にはご迷惑をおかけします。ご理解とご協力をお願い致します。



J R 赤穂線邑久駅から2km、長船駅から1.5km

## 保存版

### 災害から身を守るのはあなた自身です。

最新の防災情報などを入手することで、災害を防ぐための事前準備や、迅速な避難を行う事ができるようになります。

#### 岡山河川事務所防災情報提供システム

岡山河川事務所では、河川・道路に関する防災情報をインターネットで提供しています。

アドレス <http://bousai.okakawa-mlit.go.jp/>

#### 岡山県総合防災情報システム

岡山県内の防災に関するポータルサイトです。

アドレス <http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/>

#### 災害用伝言板サービス

災害時に電話が繋がりにくくなった時には、N T T や携帯電話会社などによる、伝言板サービスを提供しています。

### もしもの時のために

水害から身を守るためには、私たちひとりひとりが水害に関心をもち、いざという時のために、日頃の準備が大切です。私たちに出来ることから始めましょう。

#### ① 日頃から、天気予報や注意報・警報に関心をもちましょう。

日頃から天気予報や注意報・警報に関心をもち、台風時などに水害の恐れのある時は雨の降り方や風の吹き方の移り変わりを正確に知るにしましょう。

#### ② 避難場所と経路を確認しておきましょう。

いざという時のために、家族全員で、避難時の対応や場所・経路を確認しておくことが大切です。また、避難する時には、災害時要援護者を優先することも肝心です。周囲の状況をよく把握して判断し、できるだけ単独行動は避けるようにしましょう。

#### ③ 緊急時の携行品（持ち物）をひとつにまとめて準備しておきましょう。

避難時に備えて、貴重品や衣類、非常用食料などをリュックサックなどに入れて、いつでも持って出られるところに置いておきましょう。また、停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオ・電池などをストックしておくことも大切です。

会場には、家庭で取り組める簡単な水防や応急救護の講習会など、誰でも参加できるコーナーもあるよ。



